

V33a Ashra 報告 10:光学閃光観測の現状

会田 勇一、青木利文、浅岡陽一、江口誠、奥村暁、佐々木真人、長南勉、野田浩司、増田正孝（東大宇宙線研）、木村孝之（茨城大学）、杉山直（名古屋大理）、家人正治（高エネ研素核）、小川了、森元祐介（東邦大学）、安田雅弘、渡邊靖志（東工大）、S.Dye, J.Learned、松野茂信、S.Olsen（ハワイ大マノア校）、J.Hamilton、R.Fox（ハワイ大ヒロ校）、他 Ashra 共同研究者

Ashra の検出器は、「修正 Baker-Nunn 光学系」という広角の視野を持つ光学系の球面の焦点面に、イメージインテンシファイアを置くというとてもユニークな特長を持っている。Ashra における光学閃光観測とは、この広角、高精度という特長を持つ Ashra 望遠鏡を用いて定常観測を行い、GRB に伴う光学閃光（Optical Flash）をとらえようとする計画である。これは、夜空を常に監視することによって GRB 発生前からの観測も可能にするものである。本講演ではハワイ、マウイ島ハレアカラ山山頂にて行われた、2/3 スケールのプロトタイプ望遠鏡を用いたテスト観測の結果を報告し、ハワイ島マウナロア山での本観測での展望を述べる。